

モリサワのいまをお届けする【モリサワマガジン】

ISSUE  
14

# Morisawa Magazine

2022-23 | WINTER

モリサワカレンダー2023

「定家様のかな」未来を紡ぐ文字

P.5 途上国の子どもたちの学校給食を支援  
WFPチャリティー エッセイコンテスト、  
世界食料デーキャンペーン2022「#ごちそうさまチャレンジ」  
P.6 もっと伝わるスイッチPROJECT 開催レポート  
P.8 モリサワ 2022年の出来事



## モリサワカレンダー 2023

# 「定家様のかな」未来を紡ぐ文字

モリサワは「文字」をテーマにした企業カレンダーを毎年制作しています。

2023年は「定家様」という藤原定家の書風を取り上げました。

カレンダーの月ごとに移り変わる「定家様」の書をぜひお楽しみください。

文字を題材として毎年制作し、国内外のカレンダー展で受賞実績もあるモリサワの企業カレンダー。2007年より日本の「かな」を中心とした題材を取り上げており、2023年は、「小倉百人一首」の撰者として知られる歌人の藤原定家が編み出した書風「定家様」を取り上げました。ご覧いただいてもお判りのように、大変印象深いこの書風は、定家の時代から時を経て、その子孫である冷泉家の人々により復活し、少しずつ装飾性を強めながら受け継がれ、今日に至っても街中の看板などに見られます。

カレンダーは、定家と冷泉家の歴代当主のほか冷泉家以外の書き手による定家様の書を取り上げ、特徴が顕著な文字を抜き出し拡大、さらに釈文と解説文を添えた構成となっています。冊子や卷子、短冊、色紙、懐紙、書状といったさまざまな形態に書かれた独特の文字の魅力に加え、鎌倉時代から江戸時代までの書き振りの変化をもお楽しみいただけるものと思います。

「定家様」の選定は、書文化・古筆研究者として幅広く活動されている名児耶明氏に監修いただき、アートディレクション・デザインは、2022年のモリサワカレンダーに続いて廣村正彰氏に腕を揮っていただきました。

平安時代に花開いた「かなの書」は、続け書き（連綿体）を中心とした流れるような書であるのに対し、「定家様」は、連綿を極力少なくしているのが特徴です。また、線は右肩上がりにならず一文字の中に太い線があることや、全体が四角、扁平な形のように書かれています。この書風は日本の書道史上の革命ともいわれ、現代の四角にあてはまる文字の原型ともいえるそうです。今回のカレンダーは、藤原定家がまとめた日記「明月記」のほか、定家様の様式が色濃く残る冷泉家に収蔵された作品を中心に選出され、カレンダーとしても、どのお部屋にかけられていてもマッチするような仕上がりとなっています。ここからは、各月ごとにご紹介してまいります。

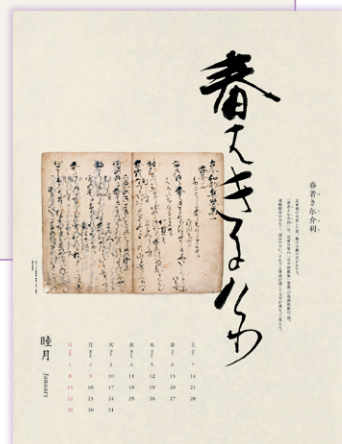
一月

### 国宝「古今和歌集 嘉禄二年本」藤原定家筆

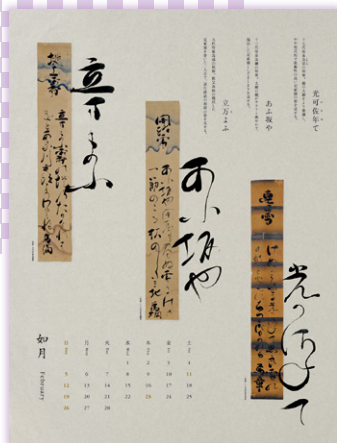
藤原定家の子の為家から冷泉家の祖、<sup>ためすけ</sup>為相に譲られ冷泉家の秘本となった「古今和歌集」（冊子本）、国宝指定。定家が64歳の嘉禄二年（1226）に書写したもので定家様の完成期の姿を見せる。図版は巻第一の巻頭部分。和歌一首を一行に書写するのが基本。収まらない時には、行末に添えるように書く。

### 「短冊」十七代冷泉為章筆、「短冊」十三代冷泉為綱筆、「短冊」九代冷泉為満筆

短冊は、左から右へ冷泉家九代の為満、十三代為綱、十七代為章の順。世代の離れた三者の定家様の变化を示す配置。為満は、祖父為和が復活して書き始めた定家様を継承し、為綱はかなりこなれて定家に近づいた。為章は祖父の為村が始めた装飾性を見せる定家様を継承、太さを強調し始めた。



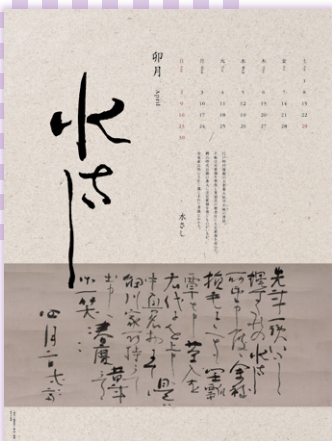
二月



三月

### 「住吉社奉納和歌」二十代冷泉為理筆

冷泉家二十代の為理が住吉大社に奉納した和歌巻。代々が少しずつ強調し描いてきた定家様の装飾性をさらに強調したもの。和歌の「和」や住吉の松の「松」など、文字の一部を極端に太くし、まるでオタマジャクシのような印象を与える太細の差が激しい字形をつくり上げた。現代のタイポグラフィーの前身といえる。



### 「書状(「瓢箪茶入 銘 閑」附属)」松平不昧筆

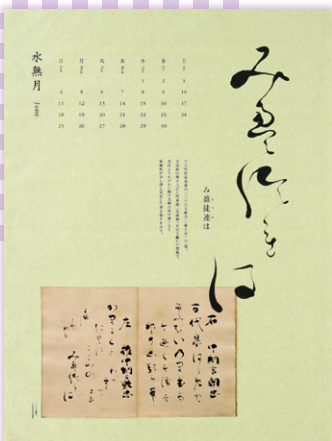
江戸時代後期の大名茶人松平不昧の書状。江戸時代初めから幕末まで、和歌・連歌関係者、茶道関係者ほかに、定家様を書く者がいた。茶道具の蒐集家としても知られる不昧もその一人で、茶道具の箱書付には定家様で書いている。この書状には「水さし」のほか、瓢箪茶入や中興名物などの茶道具が登場する。

四月

五月

### 「古歌色紙」十五代冷泉為村筆

冷泉家十五代為村の色紙。雲紙(打曇り)に和歌一首を散らし書きしたもの。為村の父の為久は、定家様あまりにうまく、定家の筆跡と紛らわしくなることを案じた霊元天皇によって定家様を書くことを禁じられたといわれる。そこで為村は一工夫した定家様を書き始めた。現代のタイポグラフィーにつながる書でもある。



### 「三十六人歌合」十六代冷泉為泰筆

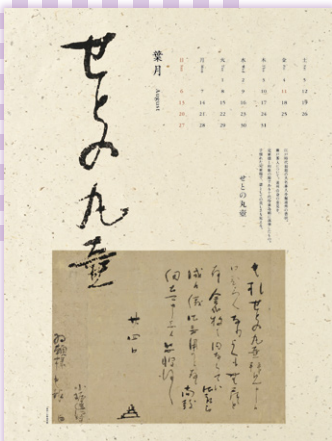
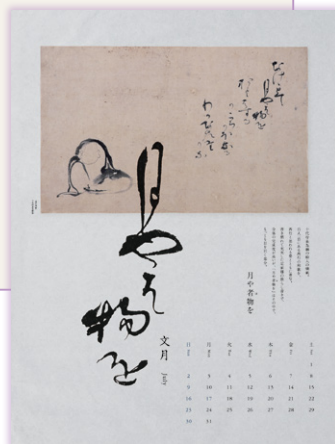
冷泉家十六代の為泰が、奈良・平安時代の歌人の代表としても知られる三十六歌仙の和歌を歌合形式で書写した冊子本。父である為村の後を受けて、冷泉流ともいわれる定家様の新しい姿を継承、安定した装飾的な定家様を展開する。以後の冷泉家の定家様の装飾性が高くなる出発点ともいえる。

六月

七月

### 「西行和歌」十代冷泉為頼筆

冷泉家十代の為頼の絵入の懐紙。西行の和歌「なげとて 月や者物を おもはする かこちかはなる わかなみたかな」と、西行と思われる頭を下げた僧侶の姿を描く。為頼の定家様は、曾祖父為和が復活した後で自分なりに完成させ、充実した筆致となっており、この懐紙の全体構成も美しい。



### 「書状」小堀遠州筆

大名茶人小堀遠州の書状。遠州の書状は、数多く残るが、書き振りはさまざまがある。その中で和歌に関するもの、茶道具に関するものには、定家様のものが見られる。この書状の内容は、瀬戸の茶入に関して相談を受けていたと思われ、自分の意見を返答したもので、宛名は和歌の師でもある十代冷泉為頼。

八月



九月

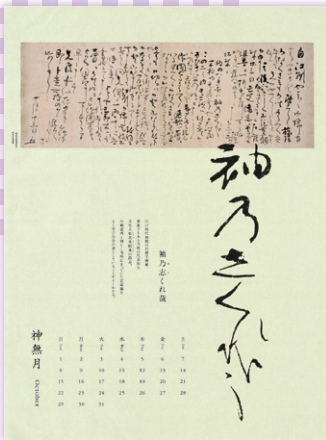
### 「冷泉為全三首懐紙」十九代冷泉為全筆

冷泉家十九代<sup>ためたけ</sup>為全の懐紙。天保十三年(1842)に石清水八幡宮<sup>いわしみずはちまんぐうほうじょう</sup>放生会に参向した時のもの。和歌三首を独特の定家様の書き振りで書写する。ほとんどの線は曲線で引かれ音楽的なリズムを感じさせる。装飾性が高く、タイポグラフィーの一つの姿ともいえる。冷泉家では、このほか日常では、通常の書風でも書いた。



### 「松花堂昭乗消息」松花堂昭乗筆

江戸時代初期の松花堂 昭乗<sup>しょうかうどうしょうじょう</sup>は、京都石清水八幡宮の社僧で、画家でもあり、書家としては寛永の三筆の一人にあげられる。当時の文化人として活躍していた。小堀遠州と同じく、当時の定家様を学び、自家薬籠中の物としていた。この消息(書状)は追善のための連歌の発句に関する内容。



十月

十一月

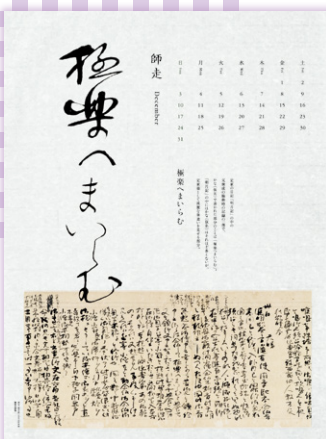
### 「冷泉為則一首懐紙」十八代冷泉為則筆

冷泉家十八代の為則の懐紙。祖父為泰の装飾性を増しはじめた定家様は、ほぼ同じ書き振りが父の為章に伝わり、それを為則も踏襲したが、代ごとにわずかな変化を見せている。その少しずつ形式化してゆく途中経過を示している。まさに文字がデザインされる様子が垣間見える。



### 国宝「明月記」元久元年冬記 藤原定家筆

定家の日記「明月記」、元久元年(1204)11月30日(旧暦)の一部。ほとんどを漢文で書き記す日記の中にあって、父俊成との臨終に臨んでのやりとりを、かな(仮名)で表記し、その数日を鮮やかに甦らせる記録。雪を欲する俊成やそれに対応する周辺の人々の動きなど、これほど明確な臨終場面の記録は極めて珍しく、むしろ悲しさを感じさせない。



十二月

カレンダー「仮名を生んだ文字。仮名をつかった日本。そして、書いた人々。」シリーズは、2007年版より大日本印刷および凸版印刷によって共同制作されています。

当カレンダーは限定品のため、一般向けの販売・ご提供は致しかねます。何卒ご了承ください。

詳細な解説に関しましては、こちらをご覧ください

モリサワカレンダー2023  
見どころガイドPDF

[www.morisawa.co.jp/about/downloads/2023/calendar\\_greeting\\_2023.pdf](http://www.morisawa.co.jp/about/downloads/2023/calendar_greeting_2023.pdf)



名児耶明 なごや・あきら — 監修・解説・跋文

書製作、書道史を学び、1972年、東京教育大学教育学部芸術学科書専攻卒業。同年、財団法人 大東急記念文庫に勤務。1974年、財団法人 五島美術館勤務となり、その後公益財団法人 五島美術館学芸部長、副館長を歴任(2019年6月まで)。現在、筆の里工房副館長、東京学芸大学非常勤講師、東京藝術大学ゲスト講師などを務めるほか、書文化・古筆研究者として幅広く活動。主な担当企画展に、1987年「定家様」、2005年「やまとうた一千年」、2016年「平安古筆の名品」など。主な出版物に『書に心よせる』、『書の見方 日本の美と心を読む』などがある。

廣村正彰 ひろむら・まさあき — アートディレクション・デザイン

田中一光デザイン室を経て、廣村デザイン事務所設立。グラフィックデザインを中心に、美術館や商業、教育施設などのCI計画、VI計画、サインデザインを多数手がける。主な受賞歴に、毎日デザイン賞、KU/KAN賞、SDA大賞、グッドデザイン賞金賞など。主な出版物に『デザインのできること。デザインのすべきこと。』、『字本 JI BORN』、『デザインからデザインまで』などがある。多摩美術大学客員教授、金沢美術工芸大学客員教授、AGI会員。



モリサワでは「持続可能な開発目標(SDGs)」の取り組みの一環として、  
特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画 WFP 協会(国連 WFP 協会)主催の  
イベント・キャンペーンを支援しています。



モリサワは国連 WFP 協会の学校給食支援を通して、世界の子どもの栄養改善、世界の識字率向上に繋がる教育の促進など、SDGsの達成に向けた企業活動に積極的に取り組んでいます。

2022年夏には「WFP チャリティー エッセイコンテスト」、および世界食料デー月間である10月はSNS キャンペーン「#ごちそうさまチャレンジ」に協賛しました。モリサワからの協賛は今年で3年目です。

「WFP チャリティー エッセイコンテスト」は、発表されたテーマに沿って書いたエッセイ作品を応募すると、1作品ごとに寄付協力企業から国連 WFP へ寄付されるという取り組みです。また「#ごちそうさまチャレンジ」は、食品ロス削減に繋がる行動や「ごちそうさまポーズ」の写真などをハッシュタグ「#ごちそうさまチャレンジ」「#ゼロハンガー」をつけて SNS に投稿すると、寄付協力企業による国連 WFP への寄付になるというキャンペーンです。

いずれの寄付も、国連 WFP が取り組む、途上国の子どもたちの学校給食支援に役立てられます。本年の「WFP チャリティー エッセイコンテスト」への応募数は過去最多の23,090作品に及び、約46,000人の途上国の子どもたちに栄養価の高い給食が届けられることとなりました。

学校給食支援とは、SDGsの17目標のうち飢餓をなくすことはもちろん、貧困・教育など6つの目標の達成を後押

しする重要な活動です。途上国の子どもたちは、農業や家事の担い手である「貴重な労働力」とみなされ、学校教育を受けることができないために、十分な言語や文字の習得が難しいケースが多くあります。その中で、栄養のある給食の提供は、親が子どもを学校に通わせるきっかけの一つになるのです。学校給食支援によって栄養面の改善が期待できるとともに、教育を受けることで識字率が向上し、将来の職業の選択肢を広げることができるようになります。「文字を通じて社会に貢献する」を社としてしているモリサワは、識字率向上に寄与できる給食支援を行い、子どもたちの健全な成長と自立を応援することで、ジェンダー平等や経済成長などSDGsの達成を目指しています。

モリサワの社内では、ダイバーシティ推進室が「WFP チャリティー エッセイコンテスト」の窓口となり、社員自身やその家族にも応募を呼びかける取り組みをしています。エッセイを応募した社員や家族には、売り上げの一部が学校給食支援に役立てられるレッドカップキャンペーン対象商品をプレゼントするという企画を立ち上げるなど工夫を重ねてきました。応募するエッセイで取り上げられるテーマは、食べ物への感謝や、誰かと一緒に食事をすることの喜び。エッセイを書いて日頃の想いを文字にすることで、改めて家族や友人、食のかけがえのない大切さに気づくことができるため、社内の応募数も毎年増加しています。

モリサワは今後も、SDGsの達成に向けた企業活動に取り組んでまいります。

WFPチャリティー エッセイコンテスト2022の詳細は

[www.wfpessay.jp/2022/](http://www.wfpessay.jp/2022/)

世界食料デーキャンペーン2022「#ごちそうさまチャレンジ」の詳細は

[www.jawfp.org/worldfoodday2022/](http://www.jawfp.org/worldfoodday2022/)

※今年度の開催はいずれも終了しています

●モリサワのSDGsの取り組みに関するお問い合わせ

サステナビリティ推進部 ダイバーシティ推進室

E-mail: [sustainability@morisawa.co.jp](mailto:sustainability@morisawa.co.jp)

\* WFP 国連世界食糧計画(国連 WFP)とは

食料支援を通して、緊急時には人びとの命を救い、危機から立ち直りつつある人びとのために平和～繁栄への道筋を構築している世界最大の人道支援機関です。



# もっと伝わる スイッチ PROJECT

開催レポート

Jun.-Nov. 2022

「伝える」ではなく「伝わる」コミュニケーションを実現するにはどうしたら良いか、昨今のビジネス事情も鑑みながら、もっと伝わるコミュニケーションについてのオンラインイベントを開催しました。



## 「もっと伝わるスイッチPROJECT」とは？

人と人とのコミュニケーション、プレゼンなどビジネス資料を使ったコミュニケーション、チラシなどデザインワークを使ったコミュニケーションなどなど、私たちの暮らしの中には、さまざまな形の「伝える」が存在します。社会の多様化や、ICTツールの普及により、以前よりも一層「伝える」手段が増え、コミュニケーションしやすくなっているはずなのですが、課題を感じている方も多いと思います。そこでモリサワでは、「伝えるとはどういうことなのか？」を深掘りする無料のウェビナースクールを開催。6月～11月までの半年間、多彩なゲストをお招きして、本当に相手に伝わるためのコミュニケーションを実践いただきました。11月に最終講演が終了しましたので、これまでのレポートをまとめてお送りします。

### 6月「伝える」を知る

伝えるとはどういうことかを掘り下げるため、作家・演出家こうかみしろうじの鴻上尚史氏をお迎えし、「同調圧力とエンパシー」と題したウェビナーを開催。より良いコミュニケーションの秘訣をご講演いただきました。シンパシー（自分が一方的に相手を思い込む）とエンパシー（相手の立場に立って原因を考えていくこと）について、年齢や職業がさまざまな参加者から、それぞれの活動の中で感じるコミュニケーションの課題にヒントが得られたとの意見をいただきました。

### 7月 フォントとレイアウトで「伝えるを深める」

ICTツールの普及やリモートワークにより、ビジネス文書やデザインワークなど、ビジュアルで「伝える」重要性が以前よりも増えています。7月のウェビナーでは「フォントとレイアウトで伝えるを深める」をテーマに、制作物ごとに別日程で3名の講師をお迎えしたセミナーを並行して実施し、より具体的に「伝わる」制作物をつくる力を学びました。

### 8～11月「伝わる」資料を仕上げる 実践するスクール

制作物をつくってみたはいいいものの、本当に「伝わる」ものに仕上がっているのかわからないことが多いと思います。8月以降のウェビナーでは、受講者が作成した資料をもとに、ゲスト講師&モリサワMCが、「伝わる」資料の仕上げを講評しアドバイスしました。

8月・9月・10月

## 実践するスクール

|                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p><b>チラシ編</b><br/>428: ばちばちデザイン Channel<br/><b>シンヤ 領一氏</b><br/>8/24(水)、9/21(水)<br/>10/19(水)</p> |  <p><b>プレゼンスライド編</b><br/>ザ・プレゼン大学<br/><b>高橋 恵一郎氏</b><br/>8/31(水)、9/28(水)<br/>10/26(水)</p> |  <p><b>広報資料編</b><br/>PRDESIGN JAPAN<br/><b>佐久間 智之氏</b><br/>9/7(水)、10/12(水)<br/>11/2(水)</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



## 「実践するスクール」のセミナー内容を一部ご紹介します！

### Illustratorでチラシを作成

講師…シブヤ領一氏

アートディレクター・デザイナー。YouTube・428:ぱちぱちデザインChannelにてグラフィックデザイナーのお仕事、デザイナーマインドについて配信中。デザインを専門的に学んだことがない人にも「わかりやすい」と評判。2冊目の著書『そもそものデザインのりくつ』(翔泳社)が12月7日より発売。

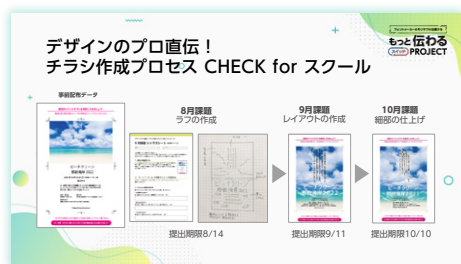


著書については

#### デザインのプロ直伝！

#### チラシ作成プロセス CHECK for スクール

7月のセミナーでは、チラシ作成を通じてデザインプロセスや組み立て方を身につけ、よりスムーズに制作できるような思考プロセスを学びました。スクールでは、学んだ手法を使った実践編です。架空のビーチクリーンイベントのチラシを宿題として作成し、提出いただいた課題について、シブヤ氏よりコメントをいただきます。参加者からは、たくさんの手描きラフの課題を投稿いただきました。また日頃のデザインに関するお悩みもいただき、解決策についても解説しました。



シブヤ領一氏のセミナーレポート・アーカイブ動画はこちら

<https://fontswitch.jp/post/12298>



### PowerPointでプレゼンスライドを作成

講師…高橋恵一郎氏

YouTubeチャンネル登録者数10万人突破「ザ・プレゼン大学」を運営。プレゼンの内容づくりや資料デザイン、伝達技術まで、プレゼンに関するトータルコンサルティングを手がける。最新著書『ビジネスで使える順 世界一やさしいPowerPointの神ワザ見ただけノート』(宝島社)発売中。



著書については

#### プレゼンのプロ直伝！

#### UDフォントを使った、伝わるプレゼン資料デザインセミナー

高橋氏曰く、プレゼンとは「自分の考えを伝えて聞き手に変化を求める行為」とのこと。どうしても作り手側のアピールが中心となりがちなプレゼンは、聞き手が主役となるような資料の制作が大事だそうです。目立たせたいがた

めのアニメーションや派手な配色は不要。レイアウトや文字サイズ、フォント、配色などで、聞き手側に寄り添う制作を伝授いただき、ちょっとした工夫で簡潔でわかりやすい資料になることを実演いただきました。

新サービス「motto tsutawaru」のご紹介

新サービス「motto tsutawaru」のご紹介

|            | Free | ブロンズ | シルバー   | ゴールド   | プラチナ   |
|------------|------|------|--------|--------|--------|
| ライセンス数     | 1    | 1    | 5      | 5      | 100    |
| プロジェクト数    | 1    | 10   | 20     | 50     | 無制限    |
| プロジェクト保存期間 | 1ヶ月  | 1年   | 1年     | 無制限    | 無制限    |
| 月額料金       | —    | 500円 | 1,000円 | 2,000円 | 5,000円 |
| 支払方法       | カード  | —    | 〇      | 〇      | 〇      |
| 請求書        | —    | ×    | ×      | 〇      | 〇      |

コンテンツの保管が必要な場合  
最もお得な「ゴールド」プランがおすすめ！

高橋恵一郎氏のセミナーレポート・アーカイブ動画はこちら

<https://fontswitch.jp/post/12083>



### Officeソフトで広報資料を作成

講師…佐久間智之氏

PRDESIGN JAPAN 株式会社代表取締役。PR TIMESエバンジェリスト。総務省 地域力創造アドバイザー。元公務員で在職中に全国広報コンクールで内閣総理大臣賞受賞。自治体の広報アドバイザーや広報、PR、デザインの研修講師として活動中。『Officeで簡単！公務員のための「1枚デザイン」作成術』(学陽書房)など著書多数。



#### すべての広報パーソンが納得！

#### 広報のプロ直伝！ 広報資料の作り方、発信のコツ

「伝わらない情報は存在しないのと同じ」とのコメントからスタートした広報・プレスリリース制作のための佐久間氏のセミナーでは、企業や自治体、サークル、PTAなどさまざまな立場で広報に関わる方々が多数参加されました。「伝わる」広報活動のノウハウを伝授いただき、広報資料の定番「プレスリリース」の制作工程を実演いただきました。さらにスクールでは、受講者からの作品を講評・アドバイスいただき、より見やすく、解りやすい作品に生まれ変わる工程が、参加者に大変好評でした。

佐久間智之氏のセミナーレポート・アーカイブ動画はこちら

<https://fontswitch.jp/post/12647>



各講師のウェビナーアーカイブは、FONT SWITCH PROJECT公式サイトのセミナーレポートよりご確認ください(無料の受講登録が必要)。

FONT SWITCH PROJECT (各ウェビナーアーカイブ動画)

[https://fontswitch.jp/switch\\_project\\_info](https://fontswitch.jp/switch_project_info)



# モリサワ 2022年の出来事

1年間のモリサワの出来事を年表形式で振り返ります。

●:モリサワの取り組み ◆:協業の取り組み

|     |                                                                                                                                                                                     |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1月  | ● 2022年カレンダー「麗しきかなと料紙 冷泉家の至宝」が第73回全国カレンダー展で銀賞を受賞<br>◆ 富士通の新コーポレートフォント和文にモリサワのUD新ゴが採用                                                                                                |
| 2月  | ● リム・コーポレーションの吸収合併 ◆ フルカラー・オンデマンドプリンティングシステム「RISAPRESS Color7100」を発売<br>◆ UDフォントがリクルート「スタディサプリ学校向けサービス」の「到達度テスト」に採用                                                                 |
| 3月  | ● モリサワ 名古屋支店が「なごやSDGsグリーンパートナーズ 認定エコ事業所」に認定<br>◆ 山形県山形市と地方創生の推進のための包括連携協定を締結<br>◆ 山形県山形市・事業構想大学院大学との共同プロジェクト「やまがた創生プロジェクト研究」を発足<br>◆ 「Google Fonts」へユニバーサルデザインに配慮した「BIZ UD フォント」を提供 |
| 4月  | ● Arphic Technology Co., Ltd. (台湾)の株式取得による子会社化<br>◆ RISAPRESS発売20周年記念記者発表会をコニカミノルタジャパン株式会社と共同開催<br>◆ モノクロデジタル印刷システム「RISAPRESS 2100」を発売                                              |
| 5月  | ● 「文字組版教室 InDesign編」オンライン開催 ◆ 「法政大学SDGsパートナーズ」に加入<br>◆ WFPチャリティー エッセイコンテスト2022「わけあおう!わたしの幸せごはん」～あなたのエッセイが途上国の給食に～に協賛                                                                |
| 6月  | ● 2022年新書体の和文書体ラインナップ発表 ◆ 日本パラ陸上競技連盟とオフィシャルスポンサー契約を締結                                                                                                                               |
| 7月  | ● 2022年新書体の欧文書体ラインナップ発表 ◆ Chatworkの新コーポレートフォントを開発                                                                                                                                   |
| 8月  | ● 新たなフォントサービス「Morisawa Fonts (モリサワフォンツ)」を発表<br>◆ Galaxy Storeに日本語フォント150書体を提供 ◆ Hyundai Motor Companyの日本語コーポレートフォントを開発                                                              |
| 9月  | ◆ 「OAC学生広告クリエイティブアワード2022」に協賛<br>◆ 国連WFP協会開催 世界食料デーキャンペーン2022「#ごちそうさまチャレンジ」に協賛                                                                                                      |
| 10月 | ● 新サービス「Morisawa Fonts」を提供開始 ● 「文字組版の教室」オンライン開催 ● 2022年新書体を提供開始                                                                                                                     |
| 11月 | ● 「文字組版の教室 InDesign編」オンライン開催 ◆ 写研書体の改刻プロジェクトを発表<br>◆ マルチアーティストVaundyの新曲『置き手紙』MVをコラボレーション制作                                                                                          |

コロナ禍も3年目となり、少しずつ対面でお客様とコミュニケーションできる機会も増えてきた中、SDGsが掲げるパートナーシップの重要性を意識する1年となりました。コーポレートフォントやオリジナルフォントなどの開発・提供

や、新たに開始したMORISAWA PASSPORTの後継サービス「Morisawa Fonts (モリサワフォンツ)」など、ニーズに合わせたさまざまなフォントソリューションのご提案を強化しています。

## Morisawa Magazine は「Catalog Pocket」で配信中!

デジタルブック「Catalog Pocket (カタログポケット)」にてMorisawa Magazineを毎月配信中です。[このアイコン](#)がある記事には、誌面未掲載の画像などが追加されています!



## フォント男子!

業界初!? フォント擬人化コメディ漫画! Webコミックサイト「ヤングエースUP」にて無料掲載中!



### お問い合わせ・ご要望は

ブランドコミュニケーション部広報伝課 E-mail: [pr@morisawa.co.jp](mailto:pr@morisawa.co.jp)

WebサイトでのMorisawa Magazine閲覧は

[www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news](http://www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news)

次号は 2023年3月発行 です



### ● 今号のフォント

表 紙: 秀英にじみ四号太かな、ゴシックMB101 R、ちさき、くろまめ、タカ風太、翠流アトラス B、ぽってり B、プフ マーチ、プフ ビクニック  
本 文: 本明朝-Book 新小がな、UD新ゴNT (AP版) L / R / DB  
見出し: 黎ミン B、霞白藤 B、見出ゴMB31、錦麗行書、UD新ゴ (AP版) DB / B、UDデジタル教科書体 B



株式会社モリサワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel: 06-6649-2151  
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-27 Tel: 03-3267-1231  
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel: 022-296-0421  
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-5-10 Tel: 052-201-2341

札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6 サウスシティ2F Tel: 011-700-0112  
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel: 092-411-5875  
鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町11-3 下田ビル2F Tel: 099-252-2255  
浜松開発室 〒434-0038 浜松市浜北区貴布祢34-2 遠鉄浜北ビル2F Tel: 053-424-7707